

平成30年度 第3回

受注登録企業動向調査結果報告書

<概況>

受注量については全体的に横ばい基調が続いているが、一部では増加傾向が見られた。
また、受注単価および資金繰りについては、ともに大きな変化は見受けられなかったが、採算状況については「黒字」と回答した企業が近年の調査では最も高い割合を占める結果となった。
一方で、前期に引き続き「受注余力あり」と回答した企業の割合が半数を超え、今後の受注見通しについては、全7業種中5業種のDIがマイナス値となるなど、景気の先行きについては慎重な見方が強まっている。

<項目別の特徴>

- (1) 受注量 : 全体的な横ばい基調は不変であるが、一部では増加傾向が見られる。
- (2) 受注見通し : 全体的にやや慎重な見通しとなっている。
- (3) 受注単価 : 全体として大きな変化はなかったが、一部で若干の低下傾向が見受けられた。
- (4) 資金繰り : 全体として大きな変化は見受けられず、堅調に推移している。
- (5) 採算状況 : 「黒字」企業の割合が過去最高水準となった。
- (6) 受注余力 : 「受注余力あり」とする企業が57.5%と、ほぼ横ばいとなっている。

(注) 本報告書で使用するDIとはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したとする企業の割合から「減少」・「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

調査対象期間 平成30年10月～12月
(平成30年12月末集計)

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせん
の円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

(3) 調査時点

平成30年12月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

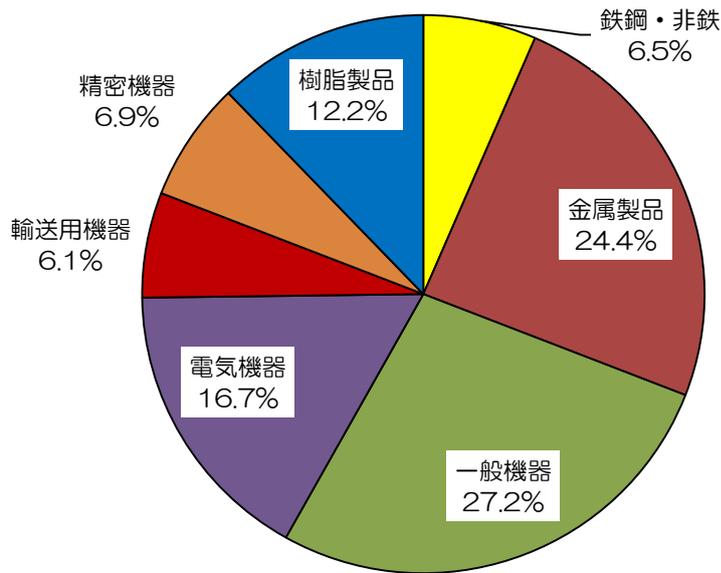
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）
※一部企業へはヒアリング調査を実施

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	246社		
③ 内訳			
	鉄鋼・非鉄関係	16社	（ 6.5% ）
	金属製品関係	60社	（ 24.4% ）
	一般機器関係	67社	（ 27.2% ）
	電気機器関係	41社	（ 16.7% ）
	輸送用機器関係	15社	（ 6.1% ）
	精密機器関係	17社	（ 6.9% ）
	樹脂製品関係	30社	（ 12.2% ）
④ 回答率	82.0%	〔前回：82.0%〕	

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	6 2.4%		1 1.7%		2 4.9%			3 10.0%
~300万円	15 6.1%		5 8.3%	3 4.5%	2 4.9%	2 13.3%	1 5.9%	2 6.7%
301~999万円	12 4.9%		4 6.7%	5 7.5%		1 6.7%		2 6.7%
1000~2000万円	139 56.5%	8 50.0%	37 61.7%	41 61.2%	23 56.1%	3 20.0%	11 64.7%	16 53.3%
2001~5000万円	55 22.4%	5 31.3%	12 20.0%	15 22.4%	11 26.8%	3 20.0%	3 17.6%	6 20.0%
5000万円超	19 7.7%	3 18.8%	1 1.7%	3 4.5%	3 7.3%	6 40.0%	2 11.8%	1 3.3%
合 計	246 100%	16 100%	60 100%	67 100%	41 100%	15 100%	17 100%	30 100%

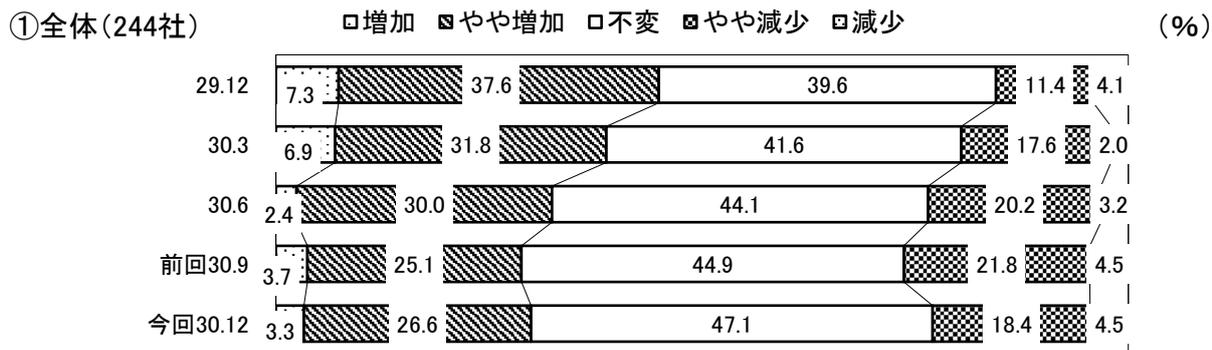
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

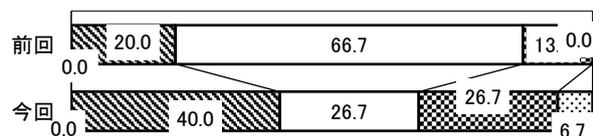
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	19 7.7%	4 25.0%	4 6.7%	5 7.5%	2 4.9%			4 13.3%
6~10人	26 10.6%	2 12.5%	4 6.7%	9 13.4%	3 7.3%	3 20.0%	3 17.6%	2 6.7%
11~20人	74 30.1%	2 12.5%	20 33.3%	27 40.3%	10 24.4%	1 6.7%	4 23.5%	10 33.3%
21~30人	32 13.0%	2 12.5%	11 18.3%	9 13.4%	4 9.8%		2 11.8%	4 13.3%
31~50人	40 16.3%	3 18.8%	8 13.3%	8 11.9%	11 26.8%	3 20.0%	3 17.6%	4 13.3%
51人以上	55 22.4%	3 18.8%	13 21.7%	9 13.4%	11 26.8%	8 53.3%	5 29.4%	6 20.0%
合 計	246 100%	16 100%	60 100%	67 100%	41 100%	15 100%	17 100%	30 100%

3. 調査結果

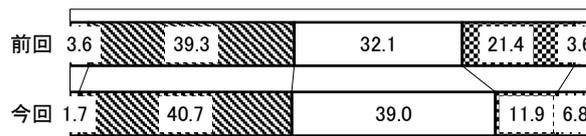
(1) 受注量について



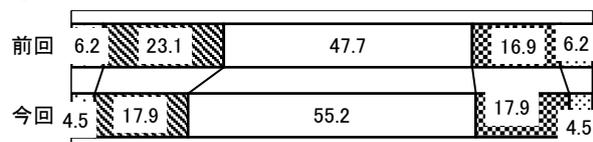
②鉄鋼・非鉄(15社)



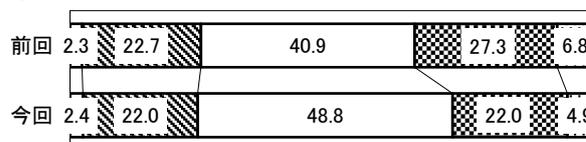
③金属製品(59社)



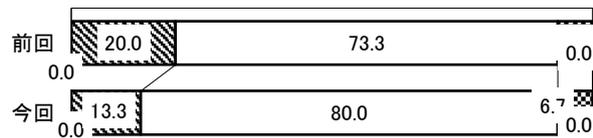
④一般機器(67社)



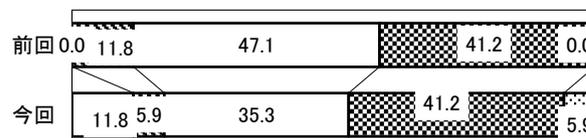
⑤電気機器(41社)



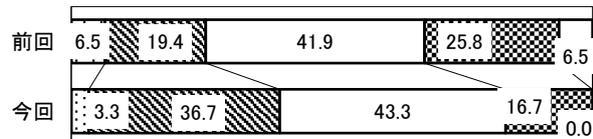
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(17社)



⑧樹脂製品(30社)



○全体

・10月～12月期の受注量の業況判断DI（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は7.0となり、前期（7月～9月期）のDI値2.5と比べ4.5ポイント上昇と、全体的に横ばい基調は続いているが、一部では増加傾向が見られる結果となった。

○業種別

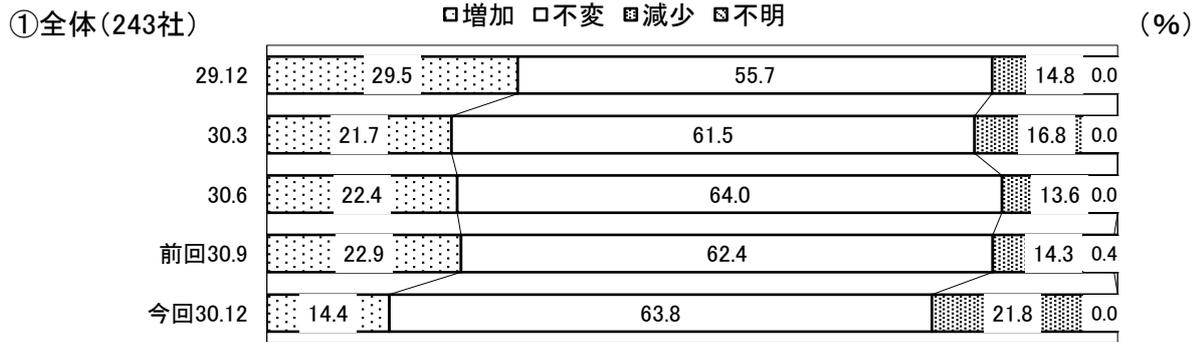
・7業種中、DI値は、金属製品（23.7）、樹脂製品（23.3）、鉄鋼・非鉄（6.6）、輸送用機器（6.6）の4業種でプラスとなった。一般機器（±0）のみ「増加」と「減少」の回答が同数となり、電気機器（▲2.5）、精密機器（▲29.4）の2業種ではマイナスとなった。

・DI値を前期と比較すると、樹脂製品（29.7ポイント）、電気機器（6.6ポイント）、金属製品（5.8ポイント）の3業種で上昇。精密機器のみ前期比±0ポイントとなり、鉄鋼・非鉄（▲0.1ポイント）、一般機器（▲6.2ポイント）、輸送用機器（▲6.7ポイント）の3業種が低下している。

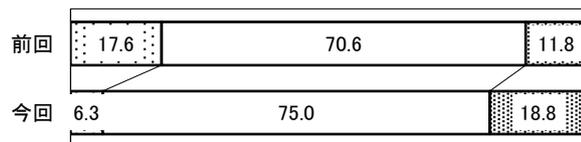
・樹脂製品のDI値が上昇している。

・鉄鋼・非鉄の「やや増加」、「やや減少」の回答が増加している。

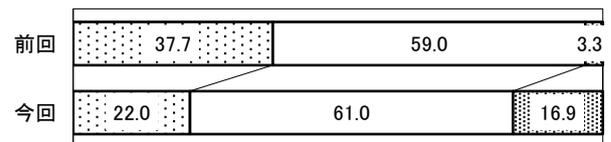
(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)



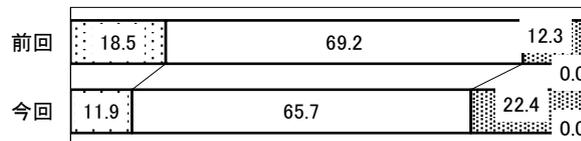
②鉄鋼・非鉄(16社)



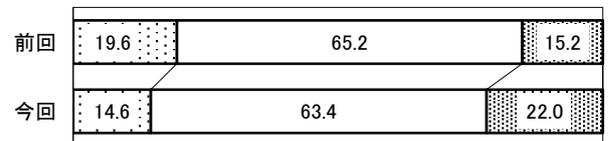
③金属製品(59社)



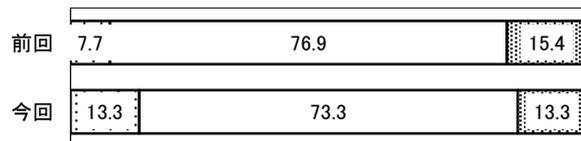
④一般機器(67社)



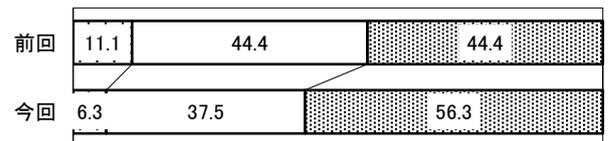
⑤電気機器(41社)



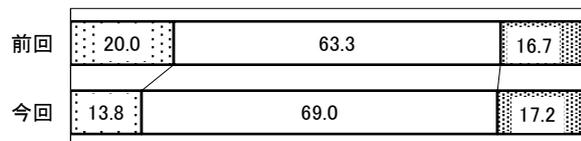
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(16社)



⑧樹脂製品(29社)



○全体

・次期(1月~3月期)の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲7.4となり、前期調査時のD I値8.6と比べ16.0ポイント低下し、全体的にやや慎重な見通しとなった。

○業種別

・業種7分類中D I値がプラスであったのは、金属製品(5.1)の1業種のみ。輸送用機器(±0)のみ「増加」と「減少」の回答が同数となり、樹脂製品(▲3.4)、電気機器(▲7.4)、一般機器(▲10.5)、鉄鋼・非鉄(▲12.5)、精密機器(▲50.0)の5業種はマイナスであった。

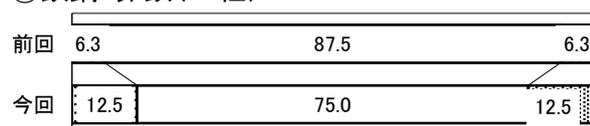
・D I値を前期と比較すると、輸送用機器(7.7ポイント)の1業種のみ上昇。樹脂製品(▲6.7ポイント)、電気機器(▲11.8ポイント)、一般機器(▲16.7ポイント)、精密機器(▲16.7ポイント)、鉄鋼・非鉄(▲18.3ポイント)、金属製品(▲29.3ポイント)と6業種で低下している。

・精密機器で「減少」の割合が過半数となった。

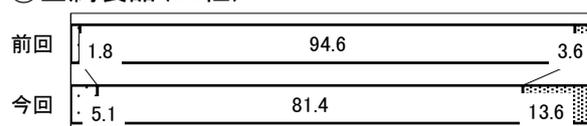
(3) 受注単価について



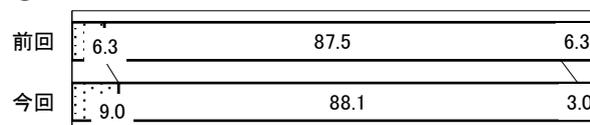
②鉄鋼・非鉄(16社)



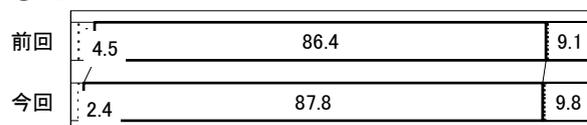
③金属製品(59社)



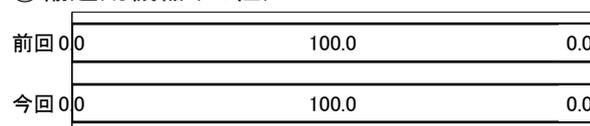
④一般機器(67社)



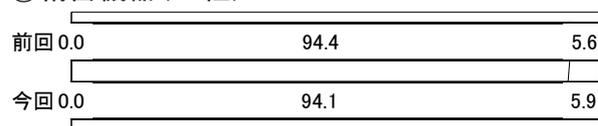
⑤電気機器(41社)



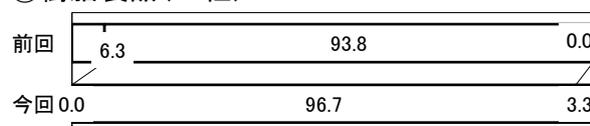
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(17社)



⑧樹脂製品(30社)



○全体

- ・10月～12月期の受注単価の業況判断DI（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲2.4となり、前期（7月～9月期）のDI値▲0.8と比べて1.6ポイント低下と、全体として大きな変化はなかったが、一部で若干の低下傾向が見受けられた。

○業種別

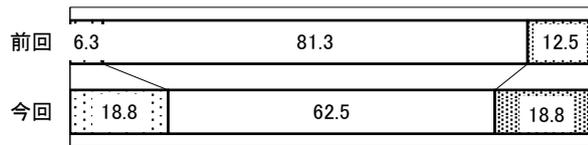
- ・7業種中、DI値は、一般機器（6.0ポイント）の1業種でのみプラスであった。全て「不変」との回答であった輸送用機器と「上昇」と「低下」の回答が同数であった鉄鋼・非鉄は（±0）となり、樹脂製品（▲3.3）、精密機器（▲5.9）、電気機器（▲7.4）、金属製品（▲8.5）、の4業種でマイナスであった。
- ・DI値を前期と比較すると、一般機器（6.0ポイント）の1業種のみ上昇。鉄鋼・非鉄、輸送用機器の2業種で前期比±0ポイントとなり、精密機器（▲0.3ポイント）、電気機器（▲2.8ポイント）、金属製品（▲6.7ポイント）、樹脂製品（▲9.6ポイント）の4業種で低下した。
- ・金属製品で「低下」の回答が増加した。

(4) 資金繰りについて

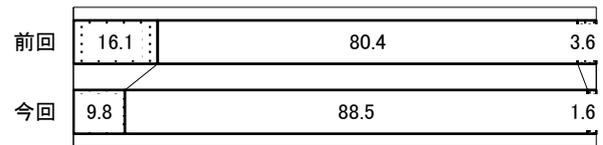
①全体(248社)



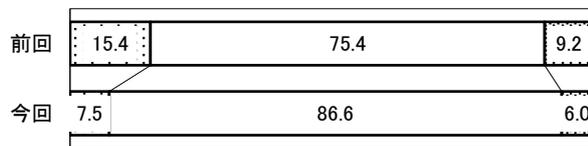
②鉄鋼・非鉄(16社)



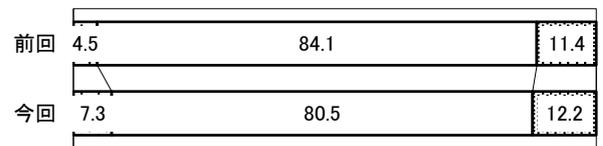
③金属製品(61社)



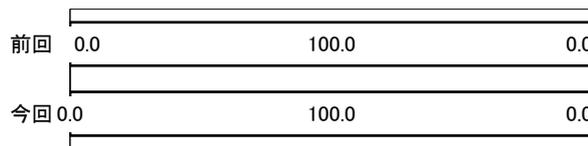
④一般機器(67社)



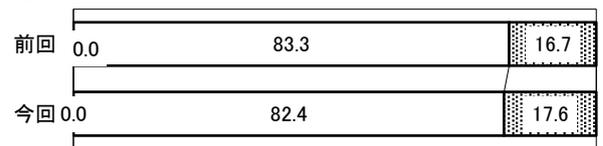
⑤電気機器(41社)



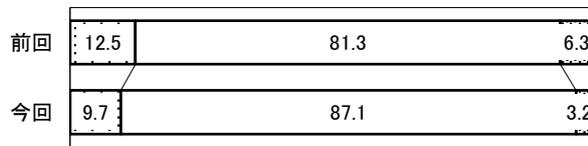
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(17社)



⑧樹脂製品(31社)



○全体

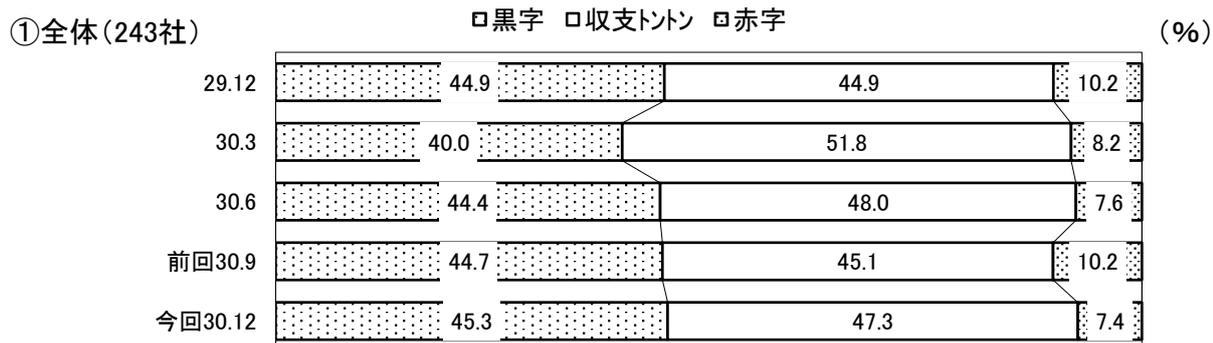
・10月～12月期の資金繰りの業況判断D1（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は1.2となり、前期（7月～9月期）のD1値2.5と比べて1.3ポイント低下と全体として大きな変化は見受けられず、堅調に推移している。

○業種別

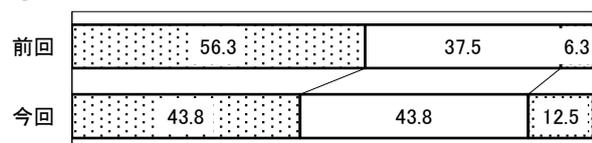
・業種7分類中D1値がプラスであったのは、金属製品（8.2）、樹脂製品（6.5）、一般機器（1.5）の3業種。全て「不変」の回答であった輸送用機器と、「好転」と「悪化」の回答が同数であった鉄鋼・非鉄は（±0）となり、電気機器（▲4.9、精密機器（▲17.6）の2業種でマイナスとなっている。

・D1値を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄（6.2ポイント）、電気機器（2.0ポイント）、樹脂製品（0.3ポイント）の3業種で上昇。輸送用機器のみ前期比±0ポイントとなり、精密機器（▲0.9ポイント）、金属製品（▲4.3ポイント）、一般機器（▲4.7ポイント）の3業種が低下している。

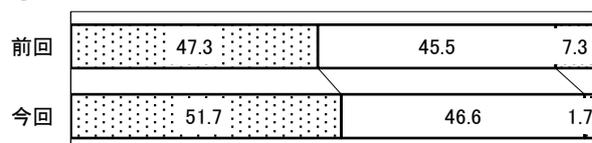
(5) 採算状況について



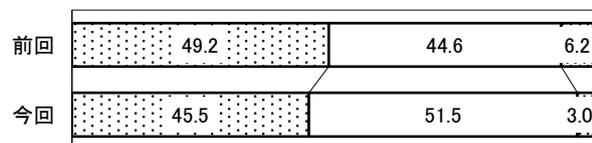
②鉄鋼・非鉄(16社)



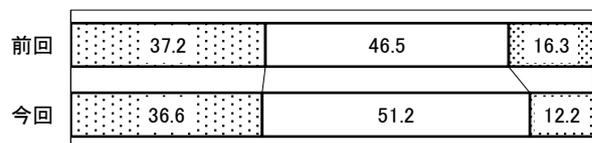
③金属製品(58社)



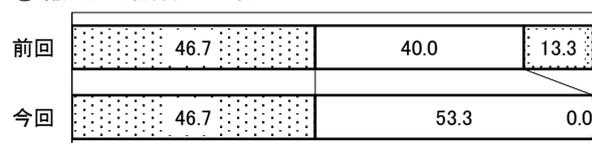
④一般機器(66社)



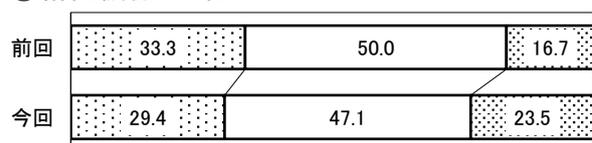
⑤電気機器(41社)



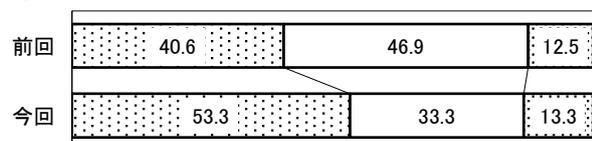
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(17社)



⑧樹脂製品(30社)



○全体

・10月～12月期の採算状況の業況判断D I (「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は37.9となり、前期(7月～9月期)のD I値34.5と比べ3.4ポイント上昇し、近年の調査では「黒字」企業の割合が最も高い水準となった。

○業種別

・D I値は、金属製品(50.0)、輸送用機器(46.7)、一般機器(42.5)、樹脂製品(40.0)、鉄鋼・非鉄(31.3)、電気機器(24.4)、精密機器(5.9)と7業種全てでプラスとなった。

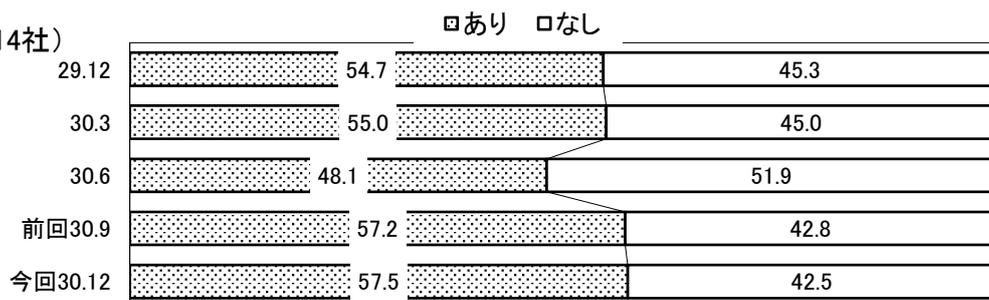
・D I値を前期と比較すると、輸送用機器(13.3ポイント)、樹脂製品(11.9ポイント)、金属製品(10.0ポイント)、電気機器(3.5ポイント)の4業種で改善傾向が見られたが、一般機器(▲0.5ポイント)、精密機器(▲10.7ポイント)、鉄鋼・非鉄(▲18.7ポイント)の3業種は、悪化傾向となった。

・金属製品、樹脂製品における「黒字」企業が増加し、鉄鋼・非鉄、精密機器における「赤字」企業が増加した。

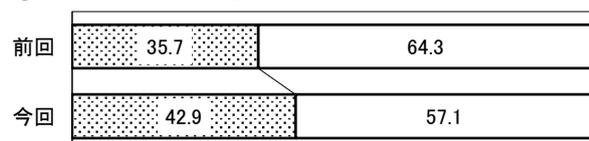
(6) 受注余力について

(%)

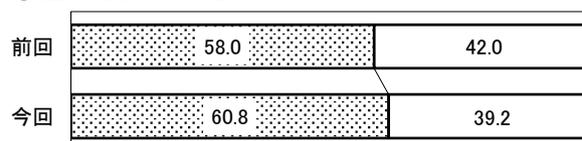
①全体(214社)



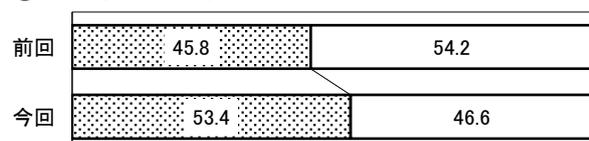
②鉄鋼・非鉄(14社)



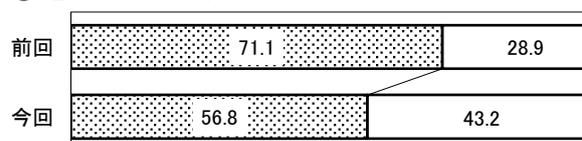
③金属製品(51社)



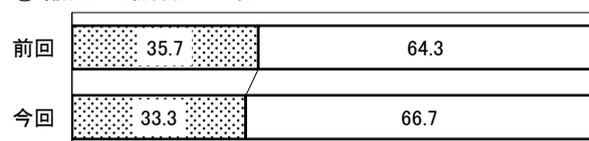
④一般機器(58社)



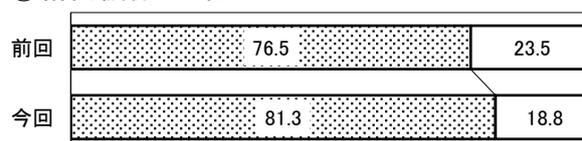
⑤電気機器(37社)



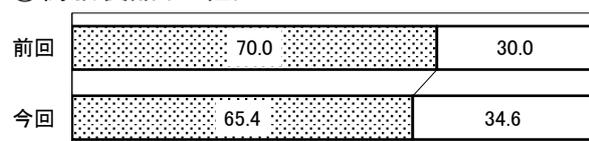
⑥輸送用機器(12社)



⑦精密機器(16社)



⑧樹脂製品(26社)



○全体

・10月～12月期の受注余力の業況判断D I (「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は15.0となり、前期(7月～9月期)のD I値14.4と比べ0.6ポイント上昇した。

(「受注余力あり」企業が増加した＝マイナス傾向)

・10月～12月期は「受注余力あり」とする企業が57.5%と、前期と比較して0.3ポイントの増加となった。

○業種別

・業種7分類中D I値がプラスであったのは、精密機器(62.5)、樹脂製品(30.8)、金属製品(21.6)、電気機器(13.6)、一般機器(6.8)の5業種で「受注余力あり」が「受注余力なし」を上回っている。鉄鋼・非鉄(▲14.2)、輸送用機器(▲33.4)の2業種で「受注余力あり」が「受注余力なし」を下回っている。

・D I値を前期と比較すると、一般機器(15.2ポイント)、鉄鋼・非鉄(14.4ポイント)、精密機器(9.5ポイント)、金属製品(5.6ポイント)の4業種で前回比プラスとなり、「受注余力あり」が増加している。輸送用機器(▲4.8ポイント)、樹脂製品(▲9.2ポイント)、電気機器(▲28.6ポイント)の3業種で前回比マイナスとなり、「受注余力あり」が減少している。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp